



実践クラブ  
生田 忠照 議員

### 問

「四年後こうなる」という具体的な将来像はあるのか。  
古川市政2期目の所信を探る。

**Q** 団塊世代の移住促進についてだが、国はまちなか移住を勧めており、中心市街地に補助金などで借家建設を誘導し、年金で安く住める住宅を整備する。そして福祉サービスの提供体制を整えることが移住の動機になるのでは。

**A** 高齢化すると田舎でも中心部での生活が好まれるので、議員提案の戦略は考えやすい。

**Q** 公共施設は今後、何割削減しなければならぬのか。その計画策定の時期はいつごろか。

**A** 今後40年間の試算で3550億円の資金不足が生じる。4割の建物を減らす必要がある。3月議会で計画について報告したい。

**Q** 製薬会社を誘致して経済活性化をやるうとされているが、薬草を活用して、どんな商品を売るのか。

**A** 島原に自生する薬草で、売れ筋の商品を開発したい。その中でも抗がん作用があるサフランは関連商品も少なく、予防サプリメントを考えている。

**Q** 島原城の400周年事業として歩道改修などがあるが、スケールが小さい。お城が変わったようなような、100年に一度の事業展開を。

**A** 無電線化を目指す一方、市民や若者の感性を取り入れたい。島原の知名度を上げ、物産を販売するなど江戸屋敷まで参勤交代をやるアイデアもある。

### 【その他の質問項目】

- ◆高齢者や障がい者などを思いやる福祉の充実
- ◆教育・文化・歴史の振興
- ◆安全安心な街づくり



バラの会  
松坂 昌應 議員

### 問

大手広場にラウンドアバウト交差点を

**Q** 庁舎建設計画と、大手広場の問題は一体として考えるべき。交差点の真ん中に時計回り優先道路を設けるラウンドアバウト交差点を大手広場に整備できないか。

複雑な道路構造解消・交通量・用地など条件がそろっている。待ち時間ストレスがなくなり、安全性も高まるし、有料駐車場も確保できる。県内初という話題性もある。

**A** 無駄な時間を少なく抑え、交通の円滑化、信号を必要とせず災害に強い、出会い頭の事故等の減少など、長所がある。

今回新庁舎の建設に伴い道路構造上、稲田青果店さんの前に心配される交通渋滞緩和が期待できる。2014年9月以降、国もラウンドアバウトの全国普及を考えており、島原市も調査研究を進めている。庁舎建設を先行させ、大手広場の活用を進める観点で、いろんな意見を聞いて慎重に考えていきたい。

### 【質問者の私案】

